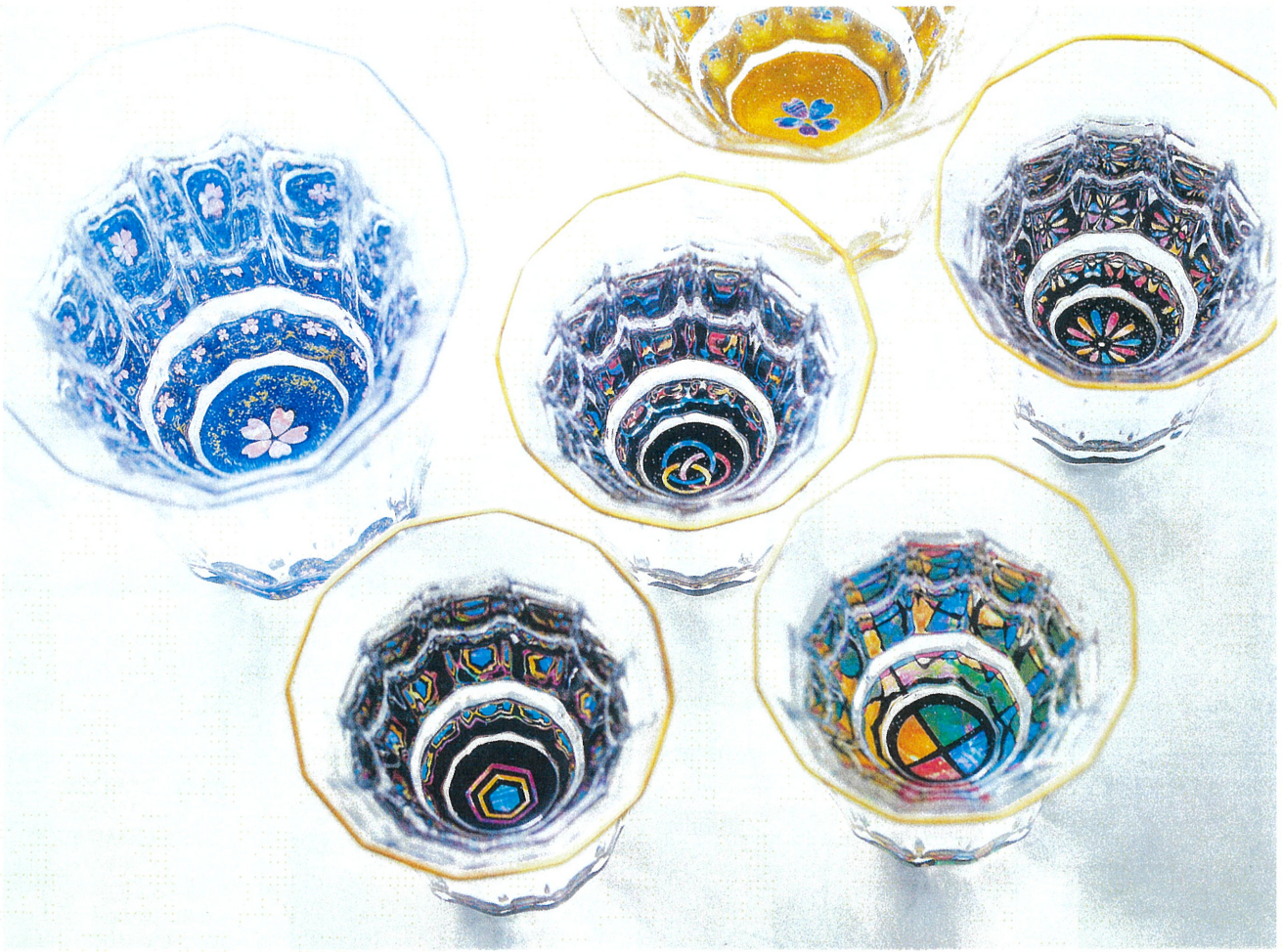
TOYAMA MONO
とやまもの
96

富山発の優れた製品をご紹介します。



緻密にカットされた螺鈿が、グラスの中で美しく輝く。「金杯(万華鏡)」(各8,000円)、「万華鏡グラス」(各10,000円)。

高岡漆器の伝統技術が
グラスと心に華やぎを与える

高岡漆器は、400年以上の歴史の中で職人が螺鈿や漆芸の技を磨いてきた。高岡は古くから問屋が主体となり分業で工芸品の制作をしてきた場所で、明治25年創業の『天野漆器』は、現在も問屋の仕事を貫き、地元の職人たちの技を伝える工芸品の開発に挑んでいる。

螺鈿ガラスは、約10年前に構想がスタートした。漆器に興味のない人に、目を向けてもらうための新しい挑戦だった。万華鏡シリーズは、カットガラスの底面に螺鈿の原料となるアワビ貝を密着させ、漆を繰り返し塗って底面を平らにする。水やお酒を注いで覗くと、絵柄が万華鏡のように広がって見える。

同シリーズの新作が、今春に伝統工芸高岡漆器協同組合で参加するギフトショーに向けて考案された。特徴は、従来に比べて幾何学的な絵柄になったこと。カラフルな色合いは螺鈿の裏面を顔料で着色して生み出している。

いつもと違う気分で飲みものを味わいたい日に、手に取ってみよう。

●お問い合わせ
天野漆器株式会社
高岡市波岡245(本社)
✆0766-23-2151
HP www.amanoshikki.com
✉ info@amanoshikki.com

●商品の取り扱い
本社ショールーム
開 9:00～17:00
休 土・日曜、祝日

T.OCUL
〒高岡市下伏間江383
イオンモール高岡内